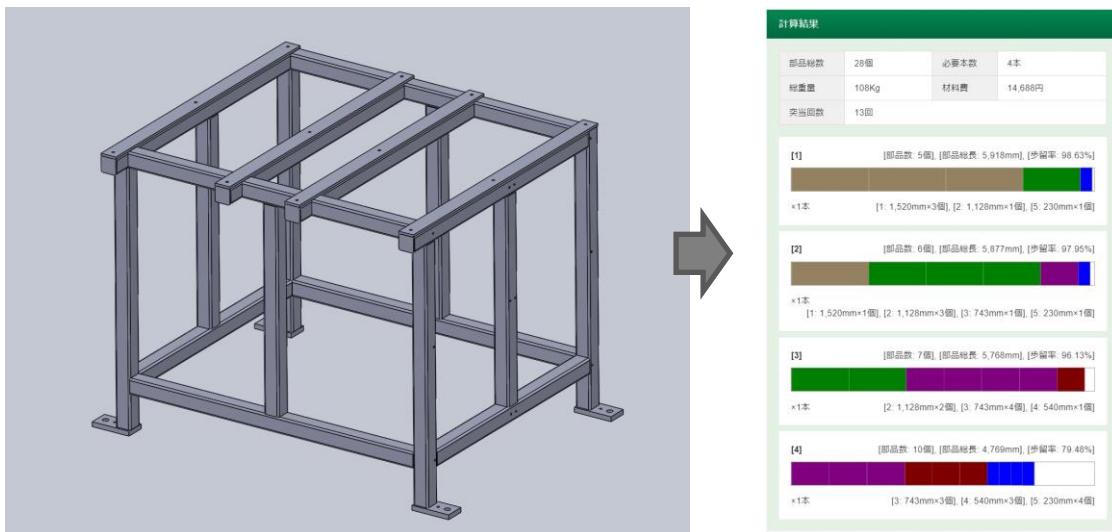


複数部品も7秒で原価算出する見積ソフト「iQシリーズ」 3D設計データから「無駄ない鋼材取り」を自動解析する新機能 クオリティーも、安定供給も保った「コストダウン」を実現

ゼロフォー株式会社（本社：神奈川県厚木市、代表取締役：石田 浩太郎）は、金属部品の見積原価自動計算ソフト『iQシリーズ』に、2020年10月12日（月）から3D設計データを解析して鋼材取りを最適化できる新機能を追加します。

今回追加する新機能は、3D設計データから材料を無駄なく使い部品を加工できる“鋼材取り”を自動解析できる機能です。現在、2D設計データの鋼材取り計算ができる単体のソフトはありますが、3D設計データに対応するものは「固まりを削る」という工程以外ではなく、複数の部品が組み合わさった金属部品に対応するものはありませんでした。当社の「iQシリーズ」は、3次元を2次元に変換することができるため、今回の3D設計データから自動で無駄のない“鋼材取り”を解析することができました。



◆相場価格が不明確な金属部品、メーカー調達担当者と加工会社の経験に頼った価格設定

IT化が進んだ現代でも、金属部品の見積作成は加工側の経験で「職人が並勘定で計算する」という方法が主流でした。場合によっては、発注側のメーカーの要望に合わせたことで、蓋を開けると施工する中小企業の利益が無いというケースも珍しくありませんでした。また、発注側のメーカー調達担当者も、経験豊富な担当者は実績から価格を想定できますが、経験が浅い担当者は、原価の相場が分からず、どこまでのコスト削減が可能か、何がコスト削減できるのかが、分からぬということが実情です。本来は設計から見直す必要があるにも関わらず、施工側にのみ負担がかかることもあります。

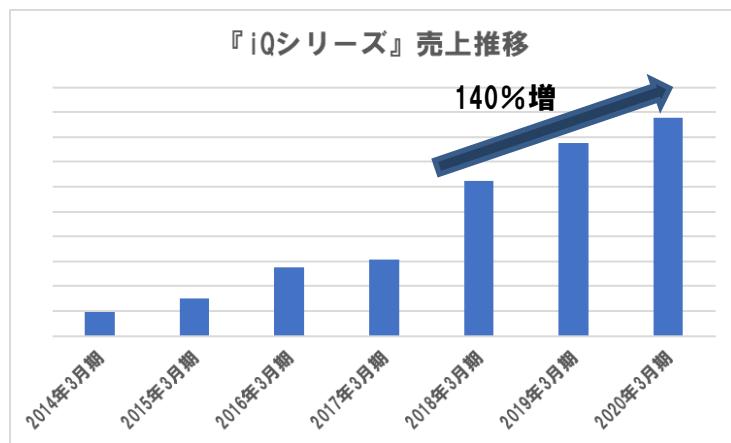
◆メーカーはコストダウンだけでなく、クオリティーや安定した供給も重視

相場価格が分からない状態でコストダウンを行っているため「クオリティーに不安を感じている」という声もありました。また、相場価格から大幅に安い価格で発注ができるても、受注した加工会社しか対応ができないケースもあり、他の会社に発注先を変更しなければならなくなつた際、想定していた原価が変わり事業自体の計画を見直さなければならぬこともあります。

『iQシリーズ』は、発注側のメーカーが標準原価がわかり、クオリティーを保った範囲でコストダウンを考えることができます。また、専門図面の知識が浅くても数回のクリック、最短7秒で原価算出を可能にしたソフトウェアです。

『iQ シリーズ』は 2014 年に 2 次元データの見積ソフトの提供からスタートしていますが、現在では 3 次元データでの見積が主流となり、特に大手メーカー様からのニーズが急激に増え、2018 年 3 月期と 2020 年 3 月期の比較では 140% の売上増になっています。

今後も『iQシリーズ』は新機能追加を予定しています。当社は、日本のモノづくりのスピード、クオリティーの維持ができ、尚且つ適正価格内のコストダウンを実現できるよう、見積ソフトの開発を行ってまいります。



【見積ソフト「iQ シリーズ」】

2次元図面用

- iQ3-ProC 板金用原価見積ソフト
 - iQ35-ProC 板金・製缶用原価見積ソフト

3次元データ用

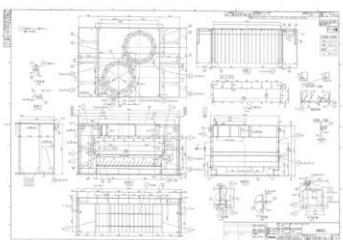
- Solidworks用アドイン 板金用原価見積ソフト
 - Solidworks用アドイン 板金・製缶用原価見積ソフト

＜板金用ソフト 他社との比較＞

販売メーカー	A社	ゼロフォー
商品名	見積りモジュール	iQ3-ProC iQ3-SW iQ35-SW
価格	100万～200万	150万～330万 (オプション含)
発売時期	1995年	2013年
ユーザー数	700社(全国)	400社(日本、タイ、ベトナム)
利用者	100%が現場経験者	70%が現場未経験者
対応図面	2次元	2次元、3次元
算出金額のバラつき	現場経験者に依存 (バラつきが残る)	非常に少ない (バラつきの削減が目的)
パラメータ設定	×	○(有償)

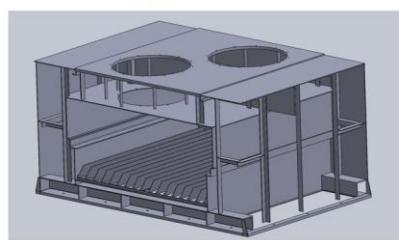
＜「SS400 製品サイズ 3000*1470*1100 製作数量 1 個」の場合＞

2次元図面の場合



算出時間 4時間

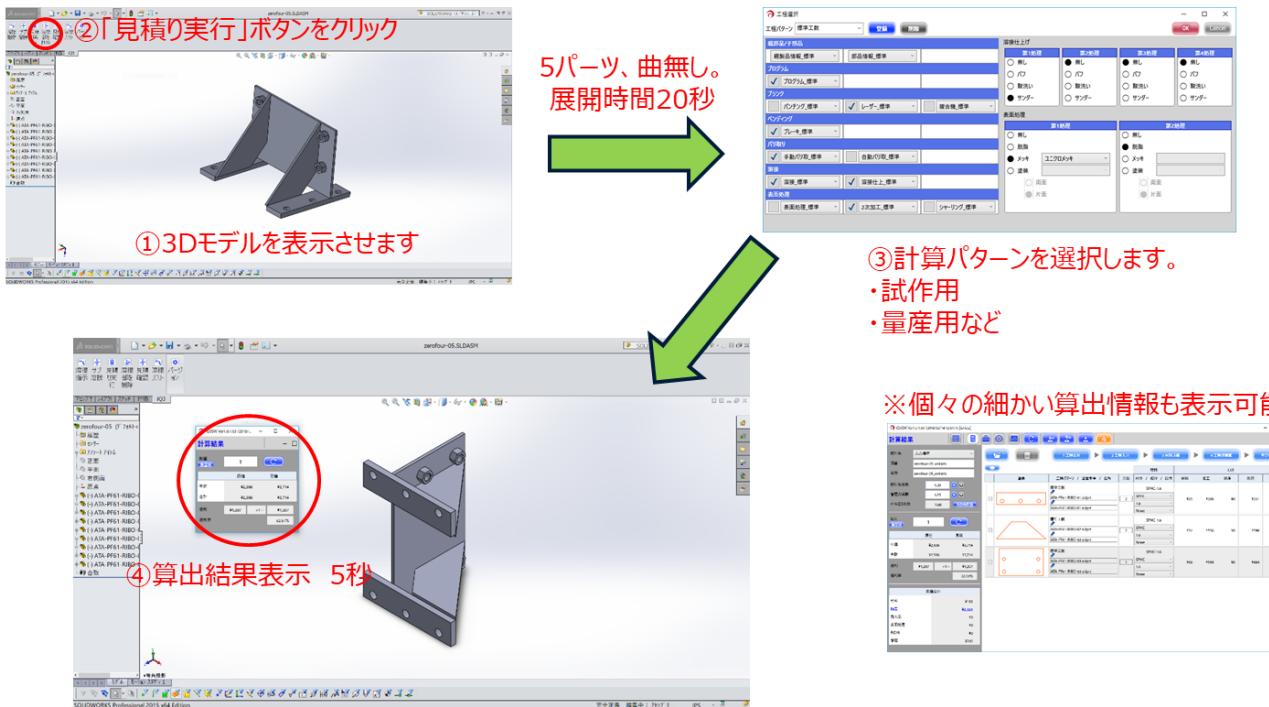
3次元データの場合



算出時間 15分

No	工程	段取り時間	採取金額	加工時間	加工金額	合計時間	合計金額
1	プログラム	00:24:56	¥1,527	-	-	00:14:56	¥1,527
3	レーザー	00:02:22	¥339	00:01:47	¥279	00:04:10	¥618
5	プレスプレーキ	00:11:29	¥1,111	00:05:35	¥540	00:17:04	¥1,651
7	自動パリ取り機	00:01:51	¥110	00:00:55	¥59	00:02:47	¥169
8	2次加工	00:02:40	¥155	00:06:49	¥412	00:09:30	¥567
9	溶接	00:02:47	¥186	00:20:21	¥1,455	00:23:08	¥1,641
10	溶接仕上げ	00:01:26	¥97	00:15:00	¥1,080	00:16:27	¥1,177
合計		00:47:33	¥3,525	00:50:31	¥3,825	01:38:05	¥7,349
						時間費	¥484
						管理費	¥989
						利益	¥4,888
						見積金額	¥15,118

操作・作業時間 合計算出時間25秒



※精密板金 精密板金加工とは板金加工の一種で、中でも特に高精度な技術が必要となる加工方法
 ※製缶 タンク、水槽、橋梁、鉄骨、船舶、鋼板、形鋼などを加工する作業

◆会社概要

企業名	: ゼロフォー株式会社
代表者	: 代表取締役 石田 浩太郎
本社所在地	: 神奈川県厚木市旭町 1-8-6 パストラルビル 3F
代表 TEL	: 046-258-6327
設立	: 2007 年 9 月 27 日
資本金	: 8,000,000 円
売上高	: 4 億 5 千万円 (2019 年度実績)
従業員数	: 20 名 (2020 年 4 月時点)
事業内容	: 板金、製缶業界向け原価計算ソフトウェアの開発・販売 板金製品の R&D 実証工場 (茨城県坂東市)
ホームページ	: https://www.zero-four.jp/

＜報道関係者 お問い合わせ先＞

ゼロフォー広報事務局

担当 : 柴山 (070-1389-0172) E-mail : pr@netamoto.co.jp

TEL : 03-5411-0066 FAX : 03-3401-7788